

アカデミック英語 No.1

旧帝大の英語長文を"論理構造"で読む——段落の役割を見抜く

導入文

英語長文を「先頭から順番に訳す」アプローチで読んでいる受験生は、長文になると全体像が見えなくなる。大学アカデミックライティングの「段落の役割」という視点を持つと、英語長文の論理構造が一気に見え、要約・内容説明問題で的確な答案が書けるようになる。

講義概要

英語長文の読解を「逐語訳」から「段落の役割（主張・根拠・例示・反論・結論）を先に把握する」大学的アプローチへ転換する。パラグラフフリーディングの技術を高校生向けに還元し、内容説明・要約・意見論述への応用まで一本でつなげる。

授業目標：英語長文を「段落の役割を先に把握する」読み方へ移す。

対象者：高2（英語得意層）～高3・浪人生。英語長文の内容説明・要約問題のある難関国公立・医学部受験生で、答案の精度を高めたい生徒。

授業時間：授業90分＋演習・質疑応答30分

到達目標：段落の役割を見た瞬間に判断できる／内容説明・要約の骨格を最初から決めて書ける／英語面接で論文の主張を構造的に語れる

授業構成（90分）＋演習・質疑応答（30分）

授業90分：1 導入：「先から訳す」と全体が見えない場面を共有 2 概念導入：段落の5役割（主張・根拠・例示・反論・結論） 3 実践：旧帝大英語長文で役割を特定する 4 演習：骨格を先に決めて内容説明・要約を書く 5 応用：意見論述・英語面接への接続 6 まとめ：「まず段落の役割を判断する」を最初の一手に固定

追加30分：内容説明・要約の答案骨格作成演習を行い、段落の役割判断が難しかった箇所について個別フィードバックと質疑応答を行う。

板書・スライド骨子：段落の5役割の定義／役割判断の手順／骨格作成の流れ／内容説明・要約・面接への応用

課題：旧帝大英語長文1本を読み、各段落の役割を日本語で書いてから内容説明問題に答える。

備考：高校・予備校の先生方／編入学試験および大学院受験への橋渡しの基礎確認をしたい方にも対応。